

# 民報・きぬ たいら陽子の議会報告



平成30年度結城市議会第4回定例議会が開催 12月5日(水)～18日(火)  
5日(水) 開会 (議案上程)  
6日(木) 代表者質問 (民政会・結政会・結新会・自由クラブ)  
7日(金) 一般質問 (佐藤・平塚・會澤・平議員)  
10日(月) 一般質問 (稲葉・湯本・早瀬・金子議員)  
11日(火) 総務委員会 (庁舎建設基金等補正&条例等)  
12日(水) 産業・建設委員会 (儲かる産地支援事業等補正)  
13日(木) 教育・福祉委員会 (小中学校エアコン整備等補正&条例)  
18日(火) 閉会 (討論・採決)

\* 9月議会から一問一答が選択制で導入されました。  
質問時間は最長60分ですが、質問回数は、これまでの3回までから無制限とし、より多くの質問ができ、簡潔な回答も得られるので、平議員は今回も導入しました。

## 一般質問

### 原子力事故の広域避難計画について

発行  
日本共産党  
結城市委員会  
たいら 陽子



県民の76%が再稼働に反対、県内44市町村の6割を超える29議会でも、運転延長や再稼働を認めない意見書が可決されている。東海第二原発を原子力規制委員会は新基準に「適合」している旨を正式決定しました。

【問1】水戸市との協議について

【答1】水戸市では、現在広域避難計画策定中のため、協議は進展していません。

【問2】予定されている避難者数に対する避難所の実態(鹿窪運動公園)について

【答2】屋内収容人数700人はトイレや倉庫などの面積を含んで算出しているが、余裕を見ての人数なので、1人当たりの面積は2㎡は確保しています。

【問3】国際的な指標スファイ基準1人あたり3.5㎡に見直した場合の収容人員について

結城市には12,461人の水戸市民を受け入れる協定書が平成28年の予定8月4日に締結している

ついて

【答3】1,560人になります。面積の見直しは難しいと思われ、来以降「地域防災計画」の見直しの予定の中で、検討していく。

【問4】昨年、一昨年と質問してきましたが、東海第二原発の過酷事故における水戸市民の受け入れでは実効性のある避難計画は策定できるのかみえませんか。

避難ができないような原発は廃炉にすべきです。

【市長答弁】当市では平成24年6月に「東海第二原発の廃炉を求める意見書」の提出を求める請願が採択されていることを真摯に受け止め、茨城県市長会などの関係団体の意見も考慮し、判断する必要があらうと考へております。



### 放課後児童クラブ(学童クラブ)について

県内の登録児童数は過去最多に上り、希望したのに入れなかった待機児童もいます。結城市の現状を伺いながら充実を求めました。

【問1】待機児童はいるのか。

【答1】待機児童はおりませんが、今後、利用児童数が増加するものと思われ、待機児童等が生じないよう、小学校、及び放課後児童クラブを開設している民間保育園等と連携を図り、クラブの拡充に努めてまいります。

【問2】支援員の処遇改善について

【答2】人材の確保と資質の向上が全国的な課題となっております。

【問3】クラブ間の連携と、結城市学童保育連絡協議会

の組織強化について

【答3】保護者会や支援員の意向を尊重しながら、対応していきます。

市における障がい者の雇用について

国の各省市や都道府県において障がい者雇用の水増しが問題となっています。茨城県、県内市町村でも水増しがありました。

当市でも、平成30年6月1日現在（◎法定雇用率…2.5%）8人のうち5人が障がい者の対象とならない人たちでした。  
要因と今後の改善計画への取り組みを伺いました。

\*法定雇用率とは雇用しなければならぬ障害者と常用労働者の割合を示したものです

【問1】法定雇用率未達成の要因について

【答1】算定要件の解釈の誤りあり、今後は障がい者手帳の確認を行うとともに、

適切な把握につとめます。

【問2】5人不足の今後の採用計画について

【答2】平成31年3月末までに1名、4月から12月末までに4人の採用計画を茨城県労働局に提出しました。

【問3】今後の取り組みについて

【答3】職員の理解が不可欠なので、周知徹底と市全体の体制整備をすすめていきます。

教職員の長時間労働について

文科省調査によりますと教職員の過労死ライン（月80時間残業）に相当する「週60時間超勤務」をしている教員が中学校で57.7%、小学校で33.5%以上とことです。

当市の教職員の働き方の現状と課題等を明らかにし

て、今後の改善への取り組みを伺いました。

【問1】教職員の勤務時間の現状について

【答3】平成30年10月は小

学校が5%、中学校が1%の教職員が長時間勤務に従事しています。

【問2】これまでの改善について

【答2】退勤時刻の改善、会議のスリム化、公務支援システム導入での、成績処理や事務処理の負担軽減、中学校での運動部活動時間の短縮や外部指導者の活用などで軽減をしています。

【問3】今後の課題と改善について

【答3】勤務時間の管理徹底で、帰宅後、家庭に仕事をもち込むなど、根本的な改善には至っていない。業務の削減と効率化を図ることではありますが、さらに、教職員の増員することこそ長時間労働の根本的な改善につながるかと考えます。

都道府県教育長協議会で、国に対して、要望しています。

【平意見】日本共産党の提案「教職員を増やし、異常な長時間労働の是正を、学校をよりよい教育の場」

をのべました。

補正予算

補正予算（案）主な事業	
一般会計	
①障がい者自立支援給付費	2,156万2千円
②障害児支援事業費	2,796万3千円
③儲かる産地支援事業補助金 *梨農家の支援	271万7千円
④小学校空調設備整備工事	5億1,381万円
⑤中学校空調設備整備工事	1億8,981万円
特別会計	
①公共下水道雨水施設工事	2,018万円

条例6件（主な改正）

- ① 結城市議会の議決事件に関する条例
- \* 総合計画の基本構想、定住自立圏形成協定に関することは議会の議決すべき事件とする
- ② 選挙におけるビラ作成の公費負担に関する条例
- \* 「公職選挙法」の改正に

伴い結城市議会議員の選挙運動に使用するビラ（400枚まで）の作成について公費負担が可能  
③ 結城市「放課後児童（学童保育）」の設備及び運営に関する条例  
\* 放課後児童支援員の資格要件の拡大（5年以上勤務）

人権擁護委員の推薦

黒田 吉則氏（3期目）

無料生活法律相談会

1月30日（水）・2月26日（火）に弁護士がきます。

安倍9条改憲NO!  
憲法を生かす  
全国統一署名  
にご協力をお願いします。  
署名にご協力ください。

政治革新の道しるべ、  
真実つたえ希望はこぼ  
しんぶん 赤旗  
日刊●月 3497円  
日曜版●月 823円